

岩間噴泉塔と白山スーパー林道ゾーン



このゾーンは、蛇谷峡谷や岩間噴泉塔群などが含まれ、変化に富んだ地形、大自然を手軽に間近に体験できる場所です。白山周辺にもたらされる大量の雪から生まれる豊富な水は、滝や峡谷など様々な地形を作り出しています。また、温度の高い温泉が自噴しており、地球が生きていることを感じられます。

岩間噴泉塔群

ジオエコヒト

国指定特別天然記念物

摂氏 100 度近い温泉が噴き出し、含まれている石灰が沈殿してできる石灰華が塔状に発達しています。

三方岩岳

ジオエコヒト

駐車場から片道徒歩 30 分程の登山道を登ると、標高 1,736m の山頂から、白山三峰や加賀禅定道が通る稜線を眺望できます。

白山自然保護センター中宮展示館

ジオエコヒト

白山の成り立ち、動植物、化石などの工夫を凝らした展示を楽しむことができます。

石川県白山市中宮09 ☎076-256-7111 開館時期：5月1日～11月上旬

時間：9:00～16:30 料金：無料

(期間中は無休)

筥笠中宮神社・加宝神社

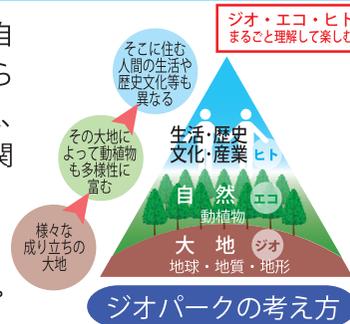
ジオエコヒト

筥笠中宮神社は白山七社の1つで、白山登拝における加賀禅定道の拠点でした。また、加宝神社は白山登拝における参拝所でした。



ジオパークとは？

「大地の物語（ジオ）」、「自然（エコ）」、そしてそれらと私たちの「生活、歴史、文化、産業（ヒト）」との関わりを学び、楽しむ場所です。



ジオパークの考え方



白山手取川ジオパークの物語

テーマ 山ー川ー海そして雪 いのちを育む水の旅

日本海から白山へもたらされる大量の雪・雨（水）は、手取川を経て日本海に戻ります。その水の旅の中には、過去から続く石の旅も見られます。

水の旅と石の旅



アクセス



- 北陸自動車道小松ICから中宮料金ゲートまで約60分
- 北陸自動車道白山ICから中宮料金ゲートまで約70分
- 東海北陸自動車道白川郷ICから馬狩ゲートまで約10分



蛇谷峡谷

白山手取川ジオパーク

山ー川ー海そして雪 いのちを育む水の旅



ゆきママとしずくちゃん 白山手取川ジオパークイメージキャラクター

問い合わせ

白山手取川ジオパーク推進協議会 〒924-8688 石川県白山市倉光二丁目1番地 TEL: 076-274-9564 / FAX: 076-274-9546 E-mail: geopark@city.hakusan.lg.jp / HP: http://hakusan-geo.main.jp/



# 蛇谷峡谷



蛇谷峡谷沿いを石川県白山市から岐阜県白川村まで、全長33.3kmの山岳有料道路白山白川郷ホワイトロードが通っており、足を踏み入れることが難しい深い峡谷の見事な風景を気軽に楽しめます。この辺りは豪雪地帯で、大量の雪から生まれる豊富な水は、大小様々な滝や深いV字谷などを作りだしています。また、蛇谷峡谷は白山国立公園内にあり、ニホンザルやニホンカモシカ、ブナの原生林などの動植物も楽しめます。

## 見どころ



## 蛇谷峡谷を作る大地の物語

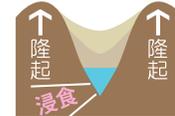


蛇谷峡谷の大地は、約7,000～6,000万年前の大規模な火山活動により形成されました。この頃はまだ日本海がなく、日本列島はアジア大陸の一部でした。何度も大規模噴火を繰り返し、蛇谷峡谷の絶壁となる大地が形作られたのです。



## V字谷

大地がもり上がる動き（隆起）とともに、豊富な雪解け水や雪崩、岩石の崩落によって大地が削られ（浸食）、V字型の谷ができました。



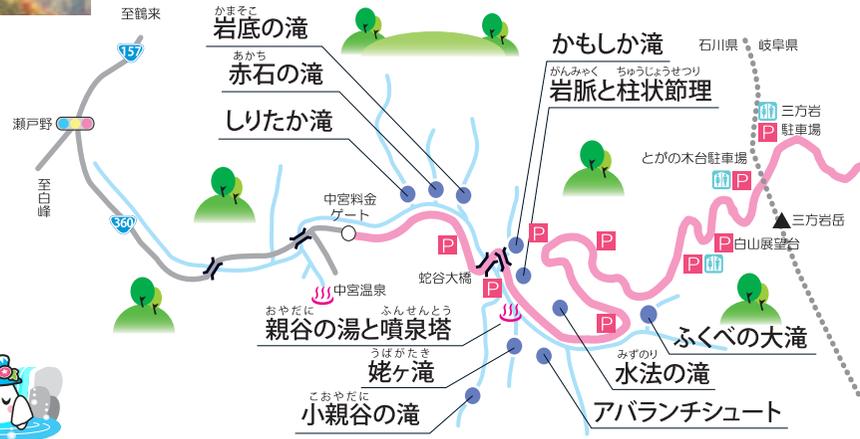
## ～水の力による地形の変化～



## アバランチシュート

## ～雪の力による地形の変化～

岩肌がむき出しになっている場所はアバランチシュートと呼ばれています。頻発する雪崩によって大地が削られ、このようなU字型の地形ができました。



- 白山白川郷ホワイトロード
- 一般道路
- トイレ
- 駐車場
- 温泉

※周辺地域は、白山国立公園に指定されており、植物や岩石等の採集は禁止されています。  
※白山白川郷ホワイトロードは有料道路です。料金、供用期間等に関する情報は「白山白川郷ホワイトロードHP」をご覧ください。  
hs-whiteroad.jp

## 岩脈と柱状節理

斜面には、周辺の大地の割れ目にマグマが貫入して固まった岩脈があります。岩脈には、マグマが冷やされたときにできる柱状の割れ目（柱状節理）が発達しています。



## 蛇谷八景

蛇谷峡谷には、蛇谷八景と呼ばれる大小8つの滝があります。本流は支流に比べて水量が多く大地を深く削るため、高低差が生まれて合流部に滝ができました。ここでは姥ヶ滝タイプとふくべの大滝タイプの滝を見ることができます。



## 親谷の湯と噴泉塔

目の前に姥ヶ滝を眺めながら楽しめる足湯※があります。上流側には高温の温泉が噴き出すミ二噴泉塔があります。これは白山火山が今なお活動している証拠の1つと考えられます。  
※利用については、うらら白山人HP (www.urara-hakusanbito.com) でご確認ください。

## ★2つのタイプの滝はどうやってできたの？

姥ヶ滝タイプは、溶結凝灰岩でできています。均一に浸食されることで、緩やかな滝が形成されました。一方、ふくべの大滝タイプは、溶結凝灰岩と火山角礫岩でできています。溶結凝灰岩に比べて浸食されにくい、火山角礫岩の部分を取り残されて、突き出した形になります。そのうち、突き出した部分が崩れ落ち、垂直な滝が形成されました。

※溶結凝灰岩：火山灰がまだ熱いうちに多量にたまったため、自らの重さでくっついて固まった岩石  
※火山角礫岩：火山の活動によって砕かれた岩（角礫）が集まってできた岩石

